

平成 28 年度 北海道小学校長会

第 5 回理事研修会

全連小第 70 回北海道大会について



現在、「大会大綱案」を全連小常任理事会で検討しているところである。「大会大綱案」には、承認されたものと検討中のものがあるので、順に説明する。

- (1) 函館市小学校長会が作成したシンボルマークがある。シンボルマークの意味については、改めて函館市の校長先生に説明していただく機会があると思うので、本日は割愛する。
- (2) 主題、副主題、会期、会場、参加者、参加費が記載されているとおりである。
- (3) 日程概要であるが、4日に開会式、分科会、5日にシンポジウム、教育視察研修を予定している。シンポジストについては3名を予定しており、現在、検討しながら交渉を進めている。
- (4) 全体会場は函館アリーナとなっている。分科会会場は、函館市小学校長会で確保に向けて、精力的に動いている。現在、函館アリーナのサブアリーナや武道場の他に、湯の川の花びしホテル、湯本啄木亭、函館駅前のシェラトンホテルなどを使用する予定である。まだ、人数など流動的な部分があり、大会大綱には、まだ掲載していない。
- (5) 副主題及び設定の理由については、承認された。副主題の「新しい社会」という表現について、特に時間をかけて検討がなされた。設定理由の『自立した個人が個性・能力を生かし、相手の価値を尊重し、多様な人々との協働を通じ新たな価値を創造していくことができる柔軟な社会』が新しい社会であるという道小の主張が明確であるということでした承されている。
- (6) 分科会一覧、趣旨と視点については、現在検討されている最中である。先ほどの報告で話ししたとおり、次期学習指導要領案の趣旨を取り入れながら検討している。例えば、第6分科会「健やかな体」では、豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実が求められており、この趣旨を反映させる視点が検討されている。
- (7) 分科会役割一覧は承認されている。

今後、全連小北海道大会に向けて、道小と函館市小学校長会とで準備委員会を組織して本格的に準備を進めていく。組織図(案)と規定(案)を資料に載せている。函館市小学校長会と道小事務局がそれぞれ動くことができる組織を考えている。準

備事務局会を中心に、総務部、研究部、運営部、会計部の4部を置き、その下に委員会を配置している。そこで、全国大会に向けた実質的な準備を分担して行う。開催まであと1年半となった。次年度、函館市の校長会は46名で準備を進めていく。全国大会を実施していく上で、今後、各地区にもお願いしていくことも出てくるかと思う。その時は、ご協力をお願いします。

各地区では、まず、宗谷・稚内大会の研究発表とともに、北海道大会の研究発表も見据えながら研究を進めていただければ幸いである。よろしくをお願いします。